



公共交通の今後の在り方について



令和会 ● 大島 正秀 議員

問 地域公共交通政策について

答 地域公共交通計画の策定については、多くの地域で人口減少に伴い、バスをはじめとする公共交通サービスの需要の縮小や経営の悪化、運転者不足の深刻化など、地域の公共交通の維持・確保が厳しくなっています。一方で、高齢者の運転免許の返納が年々増加している中、移動手段を確保することがますます重要な課題になっています。本市としても、令和6年度の策定を目指して取り組んでいくところです。公共交通の将来像として、人口減少社会の中で地域の活力を維持し、安全・安心なまちづくりを進めるため、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの構想が各地で進められています。

都市機能について都市拠点や生活拠点などをコンパクトに集約し、公共交通等によるネットワークで結ぶコンパクトシティ・プラス・ネットワーク、また、居住環境やにぎわいと地域の活力、市民の交通利便性、安全を支える交通環境の創出を将来像として取り組みを進めたいと考えているところです。具体的の方針や目標につきましては、市民の皆様はもとより、関係機関が多角的に議論を深めていくことが重要と認識しているところでもあり、湖南省地域公共交通会議設置要綱を9月に改正いたしました。新たに部会を設置しその中でも活発に協議していただけるよう準備を進めているところです。



農地・空き家への取り組みについて



会派 チーム湖南 ● 松原 栄樹 議員

農地制度について

問 農地の実態、現状は。

答 市内の農地は671haで内、遊休農地は5.6haです。年々増えつつあります。「農地利用意向調査」として、農地耕作者を個別訪問し意向把握や助言・指導などを行っています。

問 農地取得は農業者で農地取得後の農業経営面積が50a以上の法律のしほりについて、来年4月から下限面積条項が廃止となる人・農地関連法が国会で成立しました。新規就農者や小規模に農業をしたい人、家庭菜園利用者にも道が開けます。今後の対応は。

答 やみくもに許可することになると、耕作放棄地の発生につながりかねないことから、農地取得希望者の営農意欲や経営計画を総合的に判断して適正に誘導していきます。

空き家について

問 市内空き家の現状と対策について。

答 本年8月末現在525件でこの2年間で1.4倍に増えています。また、管理されず周りに影響を及ぼす恐れのある空き家は8件です。所有者などに取り壊しや修繕など助言や指導を行っています。

問 ある市では、特定不良空き家の解体を隣の家が費用を出し、その土地を収得するという制度があるそうです。そして、その土地は隣の家の所有地として駐車場や家庭菜園、その家の子ども世代の宅地となつているようです。この制度についてどのように思われますか。

答 先進的な取り組みであると考えます。それらの情報収集と研究を行い、今後も空き家の増加は続くと思えますので、検討してまいります。